

Q 3 : 外国語活動における評価はどうすればよいのでしょうか。

A 3 : 外国語活動における評価に当たっては、目標を構成する三つの柱（コミュニケーション能力の素地の3要素）を基本にし、活動の観察など様々な手法を利用しながら行うことが大切です。その際、語彙や表現の定着や英語が使うことができるようになるという、いわゆる技能の高まりについての評価にならないように留意することが大切です。

毎時間の授業においては、各単元や単位時間に設定した指導目標を達成している児童の姿を具体的にイメージし、その実現状況を活動の観察等を通して把握し、認めながら広めていくことを大切にしましょう。児童による自己評価や相互評価を取り入れながら、学習意欲を高める工夫も効果的です。

また、児童や保護者へ伝えるための教師による評価としては、教科のような数値による評価はなじまないということが、中央教育審議会の答申においても示されており、児童の状況等が具体的に把握できるような文書表記が基本となります。

指導要録の改善等については、高等学校の新学習指導要領が示された後、評価の在り方も含めた内容等について中央教育審議会の答申を踏まえ、通知が文部科学省から送付される予定です。評価の観点がどうなるかについてもこの通知で示されることとなります。